

土壤作物栄養学実習

5月18日以降の圃場作業

バレイシヨ圃場における野生動物による種イモの掘り出し。

- **5月18日以降**、畑は荒らされていません。

ポット試験用の土壌採取と乾燥の開始 5月20日（水）



ポット試験のワグネルポットに充填する土はあらかじめ2mmのフルイを通さなくてはなりません。圃場から施肥前の作土層土壌を採取してきました。

余った種イモの播種 5月21日 (木)



ビニールハウス北側の圃場に、試験区で余った種イモ**113**個を3畝に播種しました。肥料は川西バレイショ用2号を標準量施肥しました (N 6kg /10 a)。

ダイコンの播種

5月22日（金）



バレイショの畝の西側の畝の一部に黒色ビニールマルチを張り、穴を開けて、ダイコン（耐病総太り）を播種しました。バレイショの畝には、除草剤ゴーゴーサンを散布しました。

大豆の播種 5月23日（土）



西から2本の畝と、ダイコンを播種した畝の残りの部分に、大豆（音更大袖振大豆）を播種しました。

別科圃場の花 5月23日 (土)



チューリップがやっと咲きそろいました。今がピークなので、見に行ってください。

ビニールハウスの北の圃場を耕耘 5月24日（日）



既に、シバムギなどの雑草がかなりはびこっていました。何も栽培しないと荒れるばかりなので、作物を栽培しようと思います。

出席確認メールのお願い

出席確認のため、**授業終了後、当日中に筒木宛**にメールを送ってください。

送り先は； kiyosi.tutuki@icloud.com

メールのタイトルは、「**別科実習出席確認、学籍番号、氏名**」としてください。

メールの本文には、簡単で良いので**授業の感想**などを書いてください。